

公益社団法人 上伊那教育会

総研修会「仰望の日」

期日：令和6年5月17日（金） 会場：長野県伊那文化会館

【 開会・全員合唱 上伊那教育会の歌「 仰 望 」 】



【 赤羽 隆 上伊那教育会長 挨拶 】



ご来場の皆様、おはようございます。公益社団法人 上伊那教育会 総研修会「仰望の日」に参集していただき、誠にありがとうございます。また、ここにご列席いただいている、信濃教育会様はじめ来賓の皆様には日頃より上伊那教育会に対してご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

風薫る新緑の季節を迎え、山々の若葉、田植えを終えた田に、生命の躍動を感じます。春の季語に「山笑う」があります。正岡子規は、「故郷や どちらを見ても 山笑う」と詠んでいます

が、すてきな感性だと思います。さて、先生方の目の前の子どもは笑って（笑顔で）いるでしょうか。そして、ご自身は、いかがでしょうか。現在、国内外で、そして教育界でも、解決が待たれる課題が山積しています。私たちは、教育を専門として歩んできた職能団体「上伊那教育会」の一員として、創立時の熱い願いに思いを馳せ、その「上伊那プライド」を持ちながら、謙虚に、奢らずに粘り強く様々な課題に向き合っていきたいと思います。今年度の教育会基本方針は、シンプルに「集い、語り、高め合う ～学びにワクワク感を！～」としました。新しいことに会う「学び」は、本来楽しいはずです。その、子どもが真ん中の主体的な学び、ワクワクした学びを実現するため、そして、教師としての人間性

や専門性を高めるため、教育会がその役割の一端を担えればと願っています。また、近年話題となる「働き方」とともに、私たちの「働き甲斐」や「メンタルを見つめること」を大切にしたいという願いから、隠れテーマとして「心・メンタルの在り方」を考えています。今年度リニューアルした信教との共催事業「教師塾 B」もそのような内容を選択しています。現在、募集中ですので奮ってご参加ください。

本日の講演についても、「心」がテーマです。この場で講師の名越先生を紹介いたします。

名越康文（なこしやすふみ）先生は、1960 年 奈良県に生まれ、近畿大学医学部を卒業された、思春期精神医学、精神療法を専門とする精神科医です。現在は、相愛大学、高野山大学、龍谷大学の客員教授を務められるとともに、テレビ・ラジオでのコメンテーター、映画評論、漫画分析など様々な分野でご活躍されております。本日は、『自分を支える心の技法』と題してご講演いただきます。

その講演も含め、午前は心を磨く教養研修、午後は、専門性を磨く教科等教育研究会での研修により、会員の皆様にとって有意義な研修の一日なることを願うとともに、この研修を支えてくださっている各校代議員はじめ、会員・役員の先生方に感謝し、挨拶といたします。本日はよろしくお願いいたします。

【 原 文 章 信濃教育会 事務局次長 来賓祝辞 】



本日は上伊那教育会総研修会開催、誠にありがとうございます。また、日頃より信濃教育会の諸事業にご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、コロナ下ではこれまで当然のこととして実施してきた様々な教育活動が本当に子どもにとって必要であるのかを検討し、簡素化を図りました。また、教員志望者が大幅に減ってきている状況下にあって教員の働き方や仕事のやり方を見直す議論もなされてまいりました。コロナパンデミックを契機としたこうした

動き、すなわちこれまでの当たり前を見直し、現実には即したものに変わらなければならない動きを一過性のものとせず、今後も物事の本質を確かに見定めながら子どもたちとの教育活動や学校のあり方を不断に問い直し、改善していくことが私たちには求められています。そうした営みは学校で日々ひたむきに教育活動に携わっている先生方にとって教師としてのやりがいを実感し、誇りと自信をもって子どもたちに向き合えることにつながるだけでなく、ひいては現在教職に夢と希望を抱いて先生になることを目指している学生や子どもたちにもその夢や希望が確かなものになることにつながっていくと思います。ギガスクール構想の進展により、授業のあり方が大きく変わりつつあります。文部科学省が進める個別最適な学びや協働的な学びは ICT 等を使いながら今まで以上に一人一人の個性や可能性を伸ばし、他者とのコミュニケーション活動を豊かにする学びを求めるものです。この理念は信濃教育会が大事にしてきた子どもを中心とした教育と軌を一にします。ただ、どのような時代になっても教育の基盤は教師と子どもとの人間的な触れ合いです。子どもたちが自分の力を信じ、主体的に学んでいくその背後にはその子を信じて支える教師のまなざしがあります。子どもたちが異なる価値観の人を受け入れていく背後にはすべての子どもをありのまま受け入れようとする教師の存在があるのです。「存在が教育である」は信州の教師が大事にしてきた教育哲学ですが、このことが改めて大きな意味を持つようになっていると感じ

じております。教師自身の人格的な成長と、教師としての力量向上のため、信州の教師は教育会を作り、教育会に集い、自己研鑽に励むことを先輩から受け継ぎ、実践してまいりました。子どもたちが教師という存在に感化され、人生を切り拓いていくように、教員もまた先輩や同僚に教えられ、導かれ教師になっていきます。人は人によって育てられる。教育会の存在意義はそこにあります。教員には研修履歴が求められるようになりました。これまで以上に自ら求めて学ぶことが重要であり、職能団体である教育会の存在価値が一層高まっています。ぜひ上伊那教育会や信濃教育会の様々な研修や講座で学び教師としての力をつけていただきたいと思います。信濃教育会は、ここ数年武田前会長の下、改革を進めて参りました。それにあぐらをかかずこれからも大日方会長の下、会員の声をお聞きしながら会員が満足できる教育会、会員でいることに誇りを持てる教育会を皆さんと一緒に作っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、上伊那教育会の益々のご発展と皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。

【 会員発表『戸台川におけるフサフジウツギの分布について』 】

郷土研究部植物班	赤穂東小学校	宇治田彩子	先生
	赤穂小学校	伊東 美水	先生
	東中学校	玉垣 政博	先生



参会者の感想

- フサフジウツギの調査がとても興味深く、まさに「探究の姿」を見せていただき、大変刺激となった。続きも知りたいと思いました。
- 1名による発表でなく、複数の発表者の会話的展開により、グループ調査の楽しさを感じることができました。
- 地域の方々の声を聞いたり、文献を調べたりと、発表された先生方のわくわく感がこちらにも伝わってくる興味深い内容でした。25年前から文献に載っていることをきっかけとして、調査し考察をするというところが良かったです。まさに探究の内容で子ども達にもこの内容や疑問の持ち方、調査の方法などを伝えたいです。
- 固苦しい発表ではなく、3人の先生方が会話形式で分かりやすく発表していただいたのが良かった。スライドも文字が多すぎず、簡潔で良かった。今後もこういった工夫された発表が見られることを期待します。

【会員合唱】

☆上伊那教育会合唱団による合唱 『夜の歌』 『あの空へ～青のジャンプ～』

☆全員合唱『信濃の国』



参加者の感想

- すてきな選曲で、マスクなしのすてきな歌声を聞かせていただきました。新型コロナ5類移行を意識づけるような、力強く美しい歌声に感動しました。
- 毎年素晴らしい歌声を響かせていただき、感動しています。これからも無くすことのできない大切な発表の場だと感じています。
- 2曲ともとても素敵だった。特に2曲目に鳥肌がたった。素晴らしかったです。
- 鳥肌がたちました。すわりっぱなしの中で、素敵な合唱を聴くことができて良かったです。ありがとうございました。
- 今年は日本語の曲で、ハーモニーだけでなく、歌詞からもいろいろなことを感じました。心が耕されたような気がします。
- 先生方の歌声がとても素敵で心癒された時でした。歌うことが好きな気持ちが伝わってきました。ありがとうございました。
- 途中で解説する方が出てきたり、ソロで歌う方が出てきたりと演出も工夫され、生き生きとした歌声の中に引き込まれました。「マスクを外して気持ちよく歌うことのできる楽しさを」の解説はその通りだと感じました。男声パートも大勢いて迫力がありました。素敵なひとときをありがとうございました。

精神科医

名越 康文 さん

【講 演】

「自分を支える心の技法」



参会者の感想

- 睡眠と朝食の大切さ、人と人は分かりあうのが難しいからこそ、仲良くしなければいけないというお話が、とても心に残りました。
- 著名な方を講師として呼んでいただき、講演を楽しみにしておりました。精神科の専門家でも、思春期の子どもと関わることの難しさをお伝えいただき、「難しくて当然」という安心感、勇気を与えていただきました。日常生活のエピソードを交えつつ、随所に大切なポイントを抑えていただき、飽きることなく聞かせていただきました。もっともっと聞きたかったです。朝のバナナと味噌汁は私も取り組んでみたいと思いました。
- 朝の過ごし方の重要性を改めて学ばせていただくことができた。養護教諭として、日々指導していることが改めて大切なんだと、後押ししていただけた気がします。
- 私たち教員も日々ストレスを抱えながら生活していますが、姿勢を正して声を発声することで何かストレスが発散できればと思いました。そして睡眠時間や質を大切にすること、朝太陽を浴びることを心がけることなど、改めて健康への気配りが必要だと教えていただきました。そして、「どうすれば幸せになれるか」の学問が未だにないこと、精神医学でも「なぜ生きるか」の答えはないことなど、名越先生が熱心に語りかけてくださるお話は心に染み入りました。



会員の皆様、地域の皆様のご理解とご協力により、今年度も「上伊那教育会総研修会『仰望の日』」が充実したものとなりました。誠にありがとうございました。